



特集 日中国交正常化40周年



「今までも。そしてこれからも。」
2012年の今年は、日中国交正常化40周年にあたります。日本と中国、お互いの国を再認識するため、今回特集で紹介いたします。そのことが友好関係を促進する第一歩です！

日中国交正常化って？

1972年9月29日、北京で行われた「日中国交正常化の共同声明」(日中共同声明)の調印式において、日本の田中角栄首相(当時)と、中国の周恩来首相(当時)が署名しました。その後、両国はさまざまな分野での交流を重ねてきました。国交とは、国と国との交際。日本と中国とが外交を始めたこととなります。国交正常化となったことにより、両国間に大使館を建てたり、いろいろな協定を結んだり、日本人が大好きなパンダやトキが贈呈されるなど、さまざまな分野での交流活動が行われています。



（日中共同声明）の調印式において、日本の田中角栄首相（当時）と、中国の周恩来首相（当時）が署名しました。その後、両国はさまざまな分野での交流を重ねてきました。国交とは、国と国との交際。日本と中国とが外交を始めたこととなります。国交正常化となったことにより、両国間に大使館を建てたり、いろいろな協定を結んだり、日本人が大好きなパンダやトキが贈呈されるなど、さまざまな分野での交流活動が行われています。

知ってみよう！日本と中国

 日本 首都 東京 面積 約37.8万平方キロメートル 人口 約1億2,780万人 <small>※総務省統計局(2007年)より</small>	 中華人民共和国 首都 北京 面積 約959.7万平方キロメートル 【日本の約25倍】 人口 約13億2,860万人 【日本の約10倍】 <small>※総務省統計局(2004年、2007年、年央推計人口)より</small>
---	---

南島原市と中国福建省福州市 羅源県との交流

南島原市が中国と交流を行っていることをご存知ですか？
今からさかのぼること14年前、北有馬町のときのことです。平成7年に開催された駐長崎中華人民共和国総領事館開設10周年記念訪中団に参加したとき、長崎県知事を通じて羅源県長と面談をしました。
羅源県は北有馬町と同じく農業を中心とする第1次産業が主産業です。当時の北有馬町としても町民皆さんの国際的視野を広げ、国際交流を推進する

北有馬町友好交流訪問団が羅源県を訪問したときに、「北有馬町と羅源県の友好交流展開協議書」を締結しました。
また、南島原市へと合併した後もお互いに交流活動を行っていくことを確認し、友好交流推進意向書の締結を平成19年11月14日にしています。
その後、お互いに訪問交流を継続し、平成9年11月6日に羅源県長をはじめとする羅源県人民政府訪問団が北有馬を訪れ、交流が開始されました。
目的から相互間交流を確認しました。
平成8年4月に羅源県長をはじめとする羅源県人民政府訪問団が北有馬を訪れ、交流が開始されました。



ワンポイント

日本と中国との行政区の違い

日本	国	県	市	町
中国	国	省	市	県

福建省 羅源県の紹介



- 面積：1,187平方キロメートル【南島原市の約7倍】
- 人口：26万4,200人【南島原市の約5倍】
- 産業：温暖な気候を生かし、花木、椎茸などの栽培が盛ん。近年では、鉄鋼建築材料などの工業が盛んです。羅源港は福州市の外港として認定。



元国際交流員からのメッセージ

市では国際交流員による交流活動も行っています。これは、平成9年度の北有馬町の時から続けており、今回、元国際交流員さんからメッセージをいただきましたので紹介します。



メッセージ①
于舟さん
派遣期間：2007年4月～2008年4月

南島原の皆さん、お久しぶりですね。
先日、偶然にNHKのご自慢で皆さんの姿を拝見して、涙が出るほど感激しました。2007年から1年間過ごした日々が思い出されました。故郷のような南島原！忘れないう青空、忘れない雲仙の雪山、忘れない海辺の温泉、忘れない皆さんの優しい笑顔。
帰ってからというもの、あつという間に4年が経ちましたが、再び南島原の皆さんとお会いでき、何より嬉しいことでした。
仕事は、北京市対外友好協会が国際交流業務の担当をしています。今年、日中国交正常化40周年にあたり、中国駐在日大使館から両国間の交流イベントを企画し、共催と運営のお願いが私たちの協会にありました。南島原で1年間国際交流員として学んだ経験を生かし、日中友好のために頑張りたいと思います。
最後に、日中両国の末永い友好と、南島原、また長崎と北京との交流がますます発展することを期待しています。



メッセージ②
馬穎さん
派遣期間：2008年4月～2009年4月

南島原の皆さん、こんにちは。南島原で過ごした日々は私にとって忘れられない人生の宝物になりました。美しい自然、風土、暖かい人情からもらった力や感激は、大いに私を支えていると実感しています。本当に南島原の皆さんに感謝しています。南島原の全てが懐かしいです。
私は、現在、福建対外経済貿易職業技術学院で日本語教師として勤めながら、大学院に通っています。もうすぐ2年生です。
日中友好に関してですが、2010年と2012年、学校で「桜祭」というイベントを企画し、現地の日本人と学生、教師たちとの友好交流活動を行いました。
また、2011年3月JETT福州懇談会で元交流員たちと再会できました。

2011年9月には、第6回海峡（福州）漁業博覧会で長崎市清風ホテルのシェフの通訳を担当し、日本の特色である刺身文化を紹介しました。とても評判がよく、メディアで広く報道されました。
2012年2月は、長崎県と社団法人長崎県貿易協会が主催した「長崎県・中国経済交流促進団」の貿易商談会に参加し、海外と取引業務をしている学校の卒業生を紹介したり、通訳をしたりしました。
これからも日中の架け橋役として頑張っていきたいと思っています。最後に、日本と中国、そして世界の平和を願っています。
『1つの星だから、日本と中国、みんなが共にいきていこうこの美しい星の上へ』